

「にいがた市民大学」運営委員会 会議概要

第 4 回 「にいがた市民大学」運営委員会	
開催日時	令和3年12月15日（水） 午後6時00分～午後7時30分
会場	新潟市生涯学習センター403 講座室
出席者	委員：追手委員（委員長）、阿曾委員、角張委員、田中委員、中村委員、橋本委員、山田委員 以上7名 事務局：本間教育次長、生涯学習センター所長、所長補佐、センター職員2名
内容	<p>1 開会</p> <p>2 追手委員長挨拶</p> <p>3 議題</p> <p>(1) [報告]</p> <p>①令和3年度 市民大学公開講座について ◎報告資料 1-1～1-2 に基づき報告しました。 【主な質問・要望等】 ・クロスパルの臨時休館に伴い欠席した方はいたか。 →アジアの講座では、日程や時間の変更になり、延期に伴う欠席者は5名いたため、該当者には返金をした。</p> <p>②令和3年度 市民大学公開講座アンケート結果について ◎報告資料 2-1～2-2 に基づき報告しました。 →質問や意見はありませんでした。</p> <p>③令和3年度 市民大学前期終了時アンケート結果について ◎報告資料 3-1～3-3 に基づき報告しました。 【主な質問・要望等】 ・それぞれの講座の様子は詳しいデータに残すといいが、報告は際立ったことと今後していくことをあわせて、A4 半分くらいでまとめるといいのではないか。 ・自宅受講者は何名いたのか。 →9名いたが、アンケートは5名から回答いただいた。 ・リモート時のソフトは何を使ったか。 →Zoom を使った。</p> <p>④令和3年度 市民大学公開講演会について 【主な質問・要望等】 ・予算の関係で来年度以降実施しないというのは、著名な講師をお呼びする際に謝礼が高額になるということか。 →人集めだと著名な方となる。ある程度謝礼をお支払いしないと来ていただけない。 ・公開講演会はいつから実施しているのか。 →当初から入学式と合わせて実施していた。</p>

⑤令和3年度 市民大学後期ゼミナールについて

【主な質問・要望等】

- ・(田中委員)17名から参加いただいた。新潟学コースなのにミュージアムという点にこだわりすぎた。見学会に収まったところがあった。
- ・企画展のチケットは無料なのか。
- 有料なので、お得パッケージでまとめて購入したのちに、参加者から購入いただいた。前売り券については事前にお知らせした。ぐるっとミュージアム！パスポートを買われている方が多かった。

(2) [協議]

①令和3年度 市民大学特別講座について

◎協議資料 1-1～1-2 に基づき説明しました。

【主な質問・要望等】

- ・特別講座「にいがた文化の音霊」の「音霊」の読み方は、おとだま、ではなくておんりょう、ではないか。新潟文化の創造などとタイトルを変えるといいのではないか。「音霊」という言葉は実際にあるのか。
- 「音霊」は当て字。タイトルの変更はできないが、可能な限り「音霊」に読み仮名をつける。
- ・特別講座「にいがた文化の音霊」第3回目のテーマにある、「50-14」とは何か。
- 今年でシネ・ウインドを始めて36年、50年間は続けたい、あと残り14年という意味でこういう名前になった。当日講師から説明いただく。

②令和4年度 市民大学前期講座・特別講座プログラム(案)について

◎協議資料 2-1～2-8 に基づき説明しました。

【主な質問・要望等】

- 《脱炭素社会に向けて—温室効果ガス削減とその取り組み— 講座》
 - ・最終回で、新潟市で活動している大学の学生団体にも登壇してもらい、パネルディスカッションのようなことをやりたい。
 - ・第3回目から第6回目のテーマにある「脱炭素化に向けた」という言葉はわからないので、中身が分かるものをキーワードとして副題に入れた方がいいのではないか。
 - ・第4回目と第5回目の企業の事例は一回の講義にまとめてもいいのではないか。その場合、一回の講義につき謝礼を二人にお支払いできるのか。
 - 二人の場合の謝礼基準がある。1回を一人で持っていていただくときと額が変わってくるが、お支払いは可能。
- 《地域で始まる「孤立」から「支え合い」へ 講座》
 - ・第5回目のテーマ「孤立 ZERO プロジェクト」は、どういうものか分からない。第3回目のテーマが少し長すぎるのではないか。
- 《日本の文化と季節の行事 講座》
 - ・湊町のお菓子とお茶を味わう回は、本当に飲食するのか。一言、コロナの感染状況による、などの一文を広報の際に入れるといいのではないか。
 - ・初回の、「開会の挨拶」や最終回の「総括」はいらぬのではないか。
 - ・第10回目は二人講師がいるが、一時間ずつ話すのか。枠を一つにしたほうがいいのではないか。講師は二人でもいいが、一講座としてまとめたタイトルをつければいいのか。また、書かれているような内容の総括をしていただければいいのか。
 - 詳細は決まっていないがコーディネーターにお伝えする。
- 《佐渡島の金山～世界に誇る文化遺産の価値を学ぶ～ 講座》
 - ・金山について3種類くらいの名称で書かれているが、どういう使い分けなの

か。用語を統一した方がいいのではないか。

→(阿曾委員)講座名は、佐渡島と書いて、さどと読む。これは世界遺産の申請名なので、講座名はこのままでいい。コーディネーターと各講師で表記について相談いただき、なるべく佐渡金銀山という言葉を使わずに書いてほしい。

《睡眠の科学～心安らぐ眠りを求めて～ 講座》

・講座名に睡眠とあるので、各テーマ名も全体的に見直して、「睡眠」をカットしてもいいのではないか。

・第1回目のテーマに「新潟における睡眠」とあるが、地域性はあるのか。
・第6回目のテーマにある「心血管イベント」という使い方は専門用語なのか。専門用語だと一般の方は分からないのではないか。

《暮らしに役立つ工学の最先端 講座》

・表現は今後統一するのか。

→統一する。内容の文章についても、市民に分かりやすいよう事務局で修正する。

・第1回目や3回目、IoT やレーザーとだけ書いてありそっけないので、IoT の活用、のような、修飾語を下につけるといいのではないか。

《特別講座 親子で学ぶ「作って触って謎解き！？日本の美術作品」 講座》

・各テーマに昔とあるが、どの程度昔なのか。趣旨の所に、書いてあるといいのではないか。

・学生アシスタントは付けられるのか。

→学生アシスタントに謝礼をお支払いすることは可能。

・参加人数が分かった時点で学生への謝礼については講師に相談になるのか。

→相談する予定。

・親子とあるが、必ず親子で申し込むのか。

→詳細は未定だが、講師と相談する。受講料は親子セットでいただこうと考えている。

・ターゲットは、もう少し絞られている方が申し込みやすく、講座としてすっきりするのではないか。

・主な受講対象者は募集の際に案内するのか。

→案内する予定。

・小学生を対象にしたディスカッションは参加型になるのではないか。

→(橋本委員)小学生を限定してもいいと思うし、小学校高学年から中学生までにしてもいいと思う。親子で参加となると、小学生までの方が参加しやすいのではないか。

③令和4年度 市民大学実施概要(案)について

◎協議資料3に基づき説明しました。

【主な質問・要望等】

・受講料の書き方について、前期も後期も講義数×1,000円という風に、統一して書いた方がいいのではないか。ただ、単発受講はできないように、前期は10,000円としていたのではないか。

・「孤立」の講座は、社会福祉協議会、地域包括支援センターにも広報してほしい。

(3) [その他]

令和4年度 市民大学広告掲載募集について

→質問や意見はありませんでした。

	4 本間教育次長挨拶
	5 閉会
傍 聴 者	0名
会 議 資 料 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 報告資料 1-1 令和3年度 「つながりから見えるアジアの姿と未来」公開講座 実施概要 ・ 報告資料 1-2 令和3年度 「ヒトにも自然にもやさしい街中の移動を考えよう」公開講座 実施概要 ・ 報告資料 2-1～2-2 令和3年度 公開講座アンケート結果 ・ 報告資料 3-1～3-3 令和3年度 前期終了時アンケート結果 ・ 協議資料 1-1 令和3年度 特別講座「にいがた文化の音霊」プログラム(案) ・ 協議資料 1-2 令和3年度 特別講座「新潟駅と鉄道～その歴史と未来～」プログラム(案) ・ 協議資料 2-1 令和4年度 開催講座一覧(案) ・ 協議資料 2-2 「脱炭素社会に向けて—温室効果ガス削減とその取り組み—」講座(案) ・ 協議資料 2-3 「地域で始まる「孤立」から「支え合い」へ」講座(案) ・ 協議資料 2-4 「日本の文化と季節の行事」講座(案) ・ 協議資料 2-5 「佐渡島の金山～世界に誇る文化遺産の価値を学ぶ～」講座(案) ・ 協議資料 2-6 「睡眠の科学～心安らぐ眠りを求めて～」講座(案) ・ 協議資料 2-7 「暮らしに役立つ工学の最先端」講座(案) ・ 協議資料 2-8 「親子で学ぶ「作って触って謎解き！？日本の美術作品」」講座(案) ・ 協議資料 3 令和4年度 実施概要(案)